

令和4年度教員養成に係るカリキュラムの改善等に関する自己点検・評価の概要

鹿児島大学教員養成カリキュラム委員会

●自己点検・評価の目的

教育職員免許法施行規則第22条の8は、「認定課程を有する大学は、当該大学における認定課程の教育課程、教員組織、教育実習並びに施設及び設備の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。」と規定し、大学が自らの責任で大学の教職課程の活動について点検・評価し、その結果をもとに改革・改善に努めるとともに、その結果を社会に情報公表し、教職課程の質を自ら保証する内部質保証体制が必要とされている。

これを踏まえ、教員養成に係るカリキュラムの改善等に関する自己点検・評価は、教職課程の質的向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するため、教職課程の活動について自ら点検及び評価を行うとともに、教育改革・改善に努めることを通じて、本学の教職課程の質を保証し、本学に対する社会的信頼をより一層確実なものとすることを目的とする。

●評価の方法

教員養成カリキュラム委員会及び認定課程を有する各部局において、活動状況等を下記に基づいて点検し、評価を行った。

1. 「改善・向上が必要と確認された事項」への対応状況
2. 「教員養成に係るカリキュラムの改善等に関する自己点検・評価に関する申合せ」に定める評価の観点

●関係規則

国立大学法人鹿児島大学における内部質保証に関する規則

国立大学法人鹿児島大学教員養成カリキュラム委員会規則

教員養成に係るカリキュラムの改善等に関する自己点検・評価に関する申合せ

●本学で取得可能な教員免許状の種類

【学部】

(令和4年4月)

学部	学科等	教員の免許状の種類	免許教科または領域
法文学部	法経社会学科	中学校教諭一種免許状	(社会)
		高等学校教諭一種免許状	(公民、商業)
	人文学科	中学校教諭一種免許状	(国語、社会、英語)
		高等学校教諭一種免許状	(国語、地理歴史、公民、英語)
教育学部	学校教育教員養成課程	幼稚園教諭一種免許状	
		小学校教諭一種免許状	
		中学校教諭一種免許状	(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語)
		高等学校教諭一種免許状	(国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、書道、保健体育、家庭、工業、英語)
		特別支援学校教諭一種免許状	(知的障害者、肢体不自由者、病弱者)
理学部	理学科	中学校教諭一種免許状	(数学、理科)
		高等学校教諭一種免許状	(数学、理科、情報)
工学部	先進工学科	高等学校教諭一種免許状	(工業)
農学部	農業生産科学科	中学校教諭一種免許状	(理科)
		高等学校教諭一種免許状	(理科、農業)
	食料生命科学科	中学校教諭一種免許状	(理科)
		高等学校教諭一種免許状	(理科、農業)
	農林環境科学科	中学校教諭一種免許状	(理科)
		高等学校教諭一種免許状	(理科、農業)
水産学部	水産学科	中学校教諭一種免許状	(理科)
		高等学校教諭一種免許状	(理科、水産)

【研究科】

(令和4年4月)

研究科	専攻	教員の免許状の種類	免許教科または領域
人文社会科学研究科	法学専攻	中学校教諭専修免許状	(社会)
		高等学校教諭専修免許状	(公民)
	経済社会システム専攻	中学校教諭専修免許状	(社会)
		高等学校教諭専修免許状	(公民・商業)
	人間環境文化論専攻	中学校教諭専修免許状	(社会)
		高等学校教諭専修免許状	(地理歴史、公民)
	国際総合文化論専攻	中学校教諭専修免許状	(国語、社会、英語)
		高等学校教諭専修免許状	(国語、地理歴史、公民、英語)
教育学研究科	学校教育実践高度化専攻	幼稚園教諭専修免許状	
		小学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、英語)
		高等学校教諭専修免許状	(国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、保健、家庭、情報、農業、工業、商業、水産、英語)
		特別支援学校教諭専修免許状	(知的障害者、肢体不自由者、病弱者)
		養護教諭専修免許状	
理工学研究科	理学専攻	中学校教諭専修免許状	(数学、理科)
		高等学校教諭専修免許状	(数学、理科)
	工学専攻	高等学校教諭専修免許状	(工業)

1. 「改善・向上が必要とされた事項」への対応状況

【教員養成カリキュラム委員会】

点検項目	中項目	改善・向上が必要と確認された事項			進捗状況 (検討中、対応中、 対応済、その他)	改善計画（何を、いつまでに） 及びその進捗状況	部局等または 内部質保証に係る組織
		年月	内容	根拠			
①教育理念・学修目標	a. 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画の策定状況						
	b. 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画の策定プロセス						
	c. 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画の見直しの状況						
②授業科目・教育課程の編成実施	a. 複数の教職課程を通じた授業科目の共通開設など全学的な教育課程の編成状況						
	b. 教職課程の授業科目の実施に必要な施設・設備の整備状況						
	c. 教育課程の体系的性		教員養成に係るカリキュラムの改善等に関する自己点検・評価については、令和4年度が初回となるため、過去に改善・向上が必要と確認された事項は無し。				
	d. ICTの活用指導力など、各科目を横断する重要な事項についての教育課程の体系的性						
	e. キャップ制の設定状況						
	f. 教育課程の充実・見直しの状況						
	g. 個々の授業科目の到達目標の設定状況						
	h. シラバスの作成状況						
	i. アクティブ・ラーニングやICTの活用など新たな手法の導入状況						
	j. 個々の授業科目の見直しの状況						
	k. 教職実践演習及び教育実習等の実施状況						

【教員養成カリキュラム委員会】

点検項目	中項目	改善・向上が必要と確認された事項			進捗状況 (検討中、対応中、 対応済、その他)	改善計画（何を、いつまでに） 及びその進捗状況	部局等または 内部質保証に係る組織
		年月	内容	根拠			
③学修成果の把握・可視化	a. 成績評価に関する全学的な基準の策定・公表の状況						
	b. 成績評価に関する共通理解の構築						
	c. 教員の養成の目標の達成状況（学修成果）を明らかにするための情報の設定及び達成状況						
	d. 成績評価の状況						
④教職員組織	a. 教員の配置の状況						
	b. 教員の業績等						
	c. 職員の配置状況						
	d. FD・SDの実施状況						
	e. 授業評価アンケートの実施状況						
⑤情報公表	a. 学校教育法施行規則第172条の2のうち関連部分、教育職員免許法施行規則第22条の6に定められた情報公表の状況		教員養成に係るカリキュラムの改善等に関する自己点検・評価については、令和4年度が初回となるため、過去に改善・向上が必要と確認された事項は無し。				
	b. 学修成果に関する情報公表の状況						
	c. 教職課程の自己点検・評価に関する情報公表の状況						
⑥教職指導（学生の受け入れ・学生支援）	a. 教職課程を履修する学生の確保に向けた取組の状況						
	b. 学生に対する履修指導の実施状況						
	c. 学生に対する進路指導の実施状況						
⑦関係機関等との連携	a. 教育委員会や各学校法人との連携・交流等の状況						
	b. 教育実習等を実施する学校との連携・協力の状況						
	c. 学外の多様な人材の活用状況						

2. 「教員養成に係るカリキュラムの改善等に関する自己点検・評価に関する申合せ」に定める評価の観点

【教員養成カリキュラム委員会】

点検項目	中項目	自己点検・評価の観点	自己点検・評価の実施組織	点検時期	「適合」・ 「不適合」	「適合」の場合 → 根拠を記入 「不適合」の場合 → 理由および改善計画（何を、いつまでに）を記入	教育研究等の活動における特記事項 や中期計画に関連した優れた取組な どがあれば記入
①教育理念・学修 目標	a. 教員の養成の目標及び 当該目標を達成するための 計画の策定状況	・具体的かつ明確な形で設定されて いるか、教員の養成の目標及び当該 目標を達成するための計画と3つの 方針との関係が必要に応じて意識さ れているか等	[大学全体レベル] 教員養成カリキュラム委員会 [各部局レベル] 各部局の教員養成に係る事項を審議 する会議体	毎年度 (改定時)	適合	「教員養成カリキュラム委員会議事要旨」 「鹿児島大学の教員養成の目標及び当該目標を達成するための計画」 「鹿児島大学各部局の3ポリシー」 「履修の手引き等」 「教職科目シラバス」 「教職課程認定書類」	【水産学部】教員養成プログラムと いう形で学部のカリキュラムに組み 込んでおり、養成目標や指導体制を 確立している。
	b. 教員の養成の目標及び 当該目標を達成するための 計画の策定プロセス	・学生や採用権者の意見の考慮、所 在する都道府県・政令指定都市教育 委員会の策定する教員育成指標との 関係性の考慮が行われているか等		毎年度	適合	「教員養成カリキュラム委員会議事要旨」 「鹿児島県公立学校教員採用選考説明会」 「授業評価アンケート」 「市町村教育長会との協定書」 「資質能力が「G」リ等」 「教員養成カリキュラム委員会規則（第7条：委員以外の者の出席）」 「教育実習に係る指導について（依頼）」…学生の意見確認 「履修カルテの取扱いについて」…学生の意見確認 「鹿児島大学農学部と農業系高等学校との連絡協議会を開催」 「鹿児島大学農学部と農業系高等学校との連絡協議会を開催」 「農業教員の採用に関連して、農業系高等学校長と情報交換」	【教育学部、教育学研究科】教員の 質の向上と人材確保を目的に鹿児島 県市町村教育長会と教育学部及び教 育学研究科との連携・協力に関する 協定書を締結（R5.3.29） 【水産学部】水産教員の採用に関連 して、各県の教育委員会、水産系高 校関係者と情報交換を行っている。
	c. 教員の養成の目標及び 当該目標を達成するため の計画の見直しの状況	・一人一人の学生が教職課程での学 修を通じて得た自らの学びの成果 （以下「学修成果」という。）や自 己点検・評価の結果、社会情勢や教 育環境の変化等を踏まえた適切な見 直しが行われているか等		3年に1回			

【教員養成カリキュラム委員会】

点検項目	中項目	自己点検・評価の観点	自己点検・評価の実施組織	点検時期	「適合」・ 「不適合」	「適合」の場合 → 根拠を記入 「不適合」の場合 → 理由および改善計画（何を、いつまでに）を記入	教育研究等の活動における特記事項 や中期計画に関連した優れた取組な どがあれば記入
②授業科目・教育 課程の編成実施	a. 複数の教職課程を通じた授業科目の共通開設など全学的な教育課程の編成状況	・複数の教職課程間における授業科目の共通開設は、開設に責任を負う学科等の強み・特色を生かしつつ適切に行われているか等	[大学全体レベル] 教員養成カリキュラム委員会	3年に1回			
	b. 教職課程の授業科目の実施に必要な施設・設備の整備状況	・ICT（情報通信技術）環境（オンライン授業含む）、模擬授業用の教室、関連する図書など、教職課程の授業科目の実施に必要な施設・設備が整備されているか等		毎年度（教育の自己点検・評価と重複）	適合	「教員養成カリキュラム委員会議事要旨」 「各部局の自主的学習環境整備状況一覧」 「ラーニング・コモンズ1・2の運用方針について」 「人文社会科学部研究科・院生室一覧」 「鹿児島大学教育学部第二講義棟（通称：アクティブラーニングプラザ）使用規則」 「教育学部教職支援室の活動報告(1)」 「令和5年度第2回理学部教務委員会議事要旨」 「人文社会科学部研究科院生室一覧表」 「教育学研究科大学院生の研究室配置関係の資料」	【教育学部】アクティブラーニングプラザは、大学の全部局の学生の自主学習を支援することを目的としている。 また、教職支援室において、全学の教職を希望する学生のニーズに応じた相談や指導を行っている。主な支援は相談であるが、コンサルテーションやコーディネーション、情報収集として資料の選択や準備、貸し出しも行っている。鹿児島県や近隣の県、受験者の多い地区の過去問、参考書、月刊誌「教職課程」その他教員採用に必要な本など購入している。
	c. 教育課程の体系的性	・法令及び教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と対応し必要な授業科目が開設され適切な役割分担が図られているか、教職課程以外の科目との関連性が適切に確保されているか等		3年に1回			
	d. ICTの活用指導力など、各科目を横断する重要な事項についての教育課程の体系的性	・教員として身につけることが必要なICT活用指導力の全体像に対応して各科目間の役割分担が適切に図られているか、到達目標や学修量が適切な水準となっているか等		毎年度（変更科目のみ）	適合	「教員養成カリキュラム委員会議事要旨」 「各部局の教職課程変更届新旧対照表」 「教職科目シラバス（教育におけるICT活用）」…教育学部 「教職科目シラバス（教育の方法及び技術（情報通信技術の活用含む））」…教育学部以外の学部	
	e. キャップ制の設定状況	・1単位あたりの学修時間を確保する上で有効に機能しているか等		3年に1回（変更時）			
	f. 教育課程の充実・見直しの状況	・学修成果や自己点検・評価の結果等を踏まえて充実が図られ、適切な見直しが行われているか等		毎年度	適合	「教員養成カリキュラム委員会議事要旨」 「シラバス作成ガイドライン」 「シラバス教員マニュアル等」 「授業評価アンケート」 「FD活動報告書」 「教職カルテ」 「授業計画改善書」 「令和4年度第10回農学部教務委員会議事要旨（シラバス）」 「令和4年度第9回理工学研究科教務委員会議事要旨」	

【教員養成カリキュラム委員会】

点検項目	中項目	自己点検・評価の観点	自己点検・評価の実施組織	点検時期	「適合」・ 「不適合」	「適合」の場合 → 根拠を記入 「不適合」の場合 → 理由および改善計画（何を、いつまでに）を記入	教育研究等の活動における特記事項 や中期計画に関連した優れた取組な どがあれば記入
	g. 個々の授業科目の到達 目標の設定状況	・法令、教員の養成の目標及び当該 目標を達成するための計画、学習指 導要領及び教職課程コアカリキュ ラムへの対応が図られているか等	〔授業科目レベル〕 授業担当教員	毎年度（教育 の自己点検・ 評価と重複）	適合	「教員養成カリキュラム委員会議事要旨」 「教職関連科目シラバス」 「シラバス作成ガイドライン」 「シラバス作成マニュアル」等	
	h. シラバスの作成状況	・教員の養成の目標及び当該目標を 達成するための計画と授業科目との 関係、授業科目の目的と到達目標、 内容と方法、計画、成績評価基準、 事前学修と事後学修の内容等が明確 に記載されているか等		毎年度（教育 の自己点検・ 評価と重複）	適合	「教員養成カリキュラム委員会議事要旨」 「教職関連科目シラバス」 「シラバス作成ガイドライン」 「シラバス作成マニュアル」等 「再課程認定書類（コアカリキュラム対応表）」 「教育学研究科教職大学院カリキュラムマップ」	
	i. アクティブ・ラーニン グやICTの活用など新 たな手法の導入状況	・授業科目の到達目標に応じ、少人 数のアクティブ・ラーニングやICT を活用した新たな手法を導入し、 「考える」「話す」「行動する」な どの多様な学びをもたらす工夫が行 われているか等		毎年度	適合	「教員養成カリキュラム委員会議事要旨」 「教職関連科目シラバス」 「シラバス作成マニュアル」 「アクティブラーニング項目（シラバスより抜粋）」	
	j. 個々の授業科目の見直 しの状況	・学修成果や自己点検・評価の結果 等を踏まえて充実が図られ、適切な 見直しが行われているか等		毎年度	適合	「教員養成カリキュラム委員会議事要旨」 「授業評価アンケート（学生向・教員向）（教職抜粋）」等 「FD活動報告書」 「令和４年度第７回農学部教務委員会議事要旨」	
	k. 教職実践演習及び教育 実習等の実施状況	・教職課程において特に重要な役割 を果たす教職実践演習、教育実習 （学校体験活動含む）は、事前指 導・事後指導を含め、大学の主体的 な関与の下で適切に行われているか 等		毎年度	適合	「教員養成カリキュラム委員会議事要旨」 「教務委員会資料（教育実習事前事後指導の計画案、教育実習の手続き説 明会、成績報告等）」 「修学の手引、教職ガイド」「履修の手引き」等 「教職科目シラバス」 「学生への周知文（教職実践演習案内、教育実習説明会案内）」 「教育実習事前指導概要、事後指導の記録」等 「教育実習事後指導実施要領」 「教育実習グループ別ディスカッションメモ」	【水産学部】担当教員だけでなく、 技術職員の応援も得て、実践演習と しても効果を上げる体制にしてい る。

【教員養成カリキュラム委員会】

点検項目	中項目	自己点検・評価の観点	自己点検・評価の実施組織	点検時期	「適合」・ 「不適合」	「適合」の場合 → 根拠を記入 「不適合」の場合 → 理由および改善計画（何を、いつまでに）を記入	教育研究等の活動における特記事項 や中期計画に関連した優れた取組な どがあれば記入
③学修成果の把握・可視化	a. 成績評価に関する全学的な基準の策定・公表の状況	・成績評価基準に基づく評語と授業科目ごとに定められている到達目標の達成水準との関係等が明らかにされているか等	〔大学全体レベル〕 教員養成カリキュラム委員会	3年に1回 （教育の自己点検・評価と重複）			
	b. 成績評価に関する共通理解の構築	・同一名称の授業科目を複数の教員が分担して開講している場合に成績評価の平準化を図ることができているか等	〔各部署レベル〕 各部署の教員養成に係る事項を審議する会議体	毎年度（教育の自己点検・評価と重複）	適合	「教員養成カリキュラム委員会議事要旨」 「教職実践演習（全体開設部分のみ）」 「令和4年度第2回教員養成カリキュラム委員会議事要旨」等	
	c. 教員の養成の目標の達成状況（学修成果）を明らかにするための情報の設定及び達成状況	・教員の養成の目標の達成状況を明らかにするための情報が適切に設定されており、それがどの程度達成されているか、教職実践演習に向けた「履修カルテ」を適切に活用できているか等		毎年度	適合	「教員養成カリキュラム委員会議事要旨」 「教職実践演習シラバス」 「教職実践演習手引き」 「教職履修カルテ」 「教育実習に係る指導について（依頼）」 「教育実習事前・事後指導（シラバス）」 「教育実習事後指導実施要領」 「教育実習グループ別ディスカッションメモ」 「教育実習事後指導レポート」 「成績評価に関する全学的な基準の策定・公表の状況」 「教育学研究科教職大学院カリキュラムマップ」	
	d. 成績評価の状況	・各授業科目の到達目標に照らしてできるだけ定量的又は定性的に達成水準を明らかにし、厳格に点数・評語に反映することができているか、公正で透明な成績評価という観点から達成水準を測定する手法やその配点基準があらかじめ明確になっているか等	〔授業科目レベル〕 授業担当教員	毎年度（教育の自己点検・評価と重複）	適合	「教員養成カリキュラム委員会議事要旨」 「各部署の成績評価ガイドライン」 「教職関連科目シラバス（成績評価基準）」 「成績評価分布表」 「教育学部教育改善委員会規則等」 「教育学研究科学校教育実践高度化専攻における成績評価に関する組織的確認について」 「教育学研究科委員会議事要旨（9月20日）」 「教育学研究科委員会議事要旨（3月20日）」	

【教員養成カリキュラム委員会】

点検項目	中項目	自己点検・評価の観点	自己点検・評価の実施組織	点検時期	「適合」・ 「不適合」	「適合」の場合 → 根拠を記入 「不適合」の場合 → 理由および改善計画（何を、いつまでに）を記入	教育研究等の活動における特記事項 や中期計画に関連した優れた取組な どがあれば記入
④教職員組織	a. 教員の配置の状況	・教職課程認定基準（平成13年7月19日教員養成部会決定）で定められた必要専任教員数を充足しているか等	[各部署レベル] 各部署の教員養成に係る事項を審議する会議体	毎年度（変更届提出時）	適合	「教員養成カリキュラム委員会議事要旨」 「各部署の教職課程変更届新旧対照表」	
	b. 教員の業績等	・担当授業科目に関する研究実績の状況、担当教員の学校現場等での実務経験の状況等		毎年度（授業担当者変更時）	適合	「教員養成カリキュラム委員会議事要旨」 「教職課程認定申請書又は変更届」 「教職科目シラバス」	
	c. 職員の配置状況	・教職課程を適切に実施するため、事務組織を設け、必要な職員数を配置できているか等		毎年度	適合	「教員養成カリキュラム委員会議事要旨」 「教員養成カリキュラム委員会規則（第10条：事務）」 「各部署の事務分掌規則」 「農学部教員・学芸員カリキュラム委員会規則（第7条：事務）」	
	d. FD・SDの実施状況	・いわゆる教科専門の授業科目を担当する教員や実務家教員も含め、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画への理解をはじめ教職課程を担う教員として望ましい資質・能力を身に付けさせるためのFD・SDが確実に実施されているか、適切な内容が実施できているか、実際に参加が確保できているか等		毎年度（教育の自己点検・評価と重複）	適合	「教員養成カリキュラム委員会議事要旨」 「教育学部開催FDセミナー参加周知」 「教職課程業務に関する研修参加状況」 「教育学部教育改善委員会活動報告書」 「各部署FD活動報告書」 「各部署授業評価アンケート」 「教育学部開催のFD・SD活動への参加」 「農学部FD研修会（キャリア形成と大学教育）」 「令和4年度教育学研究科FD座談会実施要項」等 「教育学研究科FDにおけるフィードバック体制の概要」 「教育学部教育改善委員会規則」	【教員養成カリキュラム委員会】全学的な教職目的でのFD・SD活動（教職員の能力開発）として、教職員を対象に「教職課程業務に関する研修」を実施した。さらに、教育学部のFD・SD活動を他部署へ拡大して実施した。 【水産学部】教員養成プログラムという形で学部のカリキュラムに組み込んでおり、教員間で指導方針や課題を共有している。
	e. 授業評価アンケートの実施状況	・個々の授業科目の見直しに繋がるFDの機会を活用できるように、効果的な授業評価アンケートの作成・実施が行えているか等	[授業科目レベル] 授業担当教員	毎年度（教育の自己点検・評価と重複）	適合	「教員養成カリキュラム委員会議事要旨」 「各部署の授業評価アンケート（学生向・教員向）（教職抜粋）」等	

【教員養成カリキュラム委員会】

点検項目	中項目	自己点検・評価の観点	自己点検・評価の実施組織	点検時期	「適合」・ 「不適合」	「適合」の場合 → 根拠を記入 「不適合」の場合 → 理由および改善計画（何を、いつまでに）を記入	教育研究等の活動における特記事項 や中期計画に関連した優れた取組な どがあれば記入
⑤情報公表	a. 学校教育法施行規則第172条の2のうち関連部分、教育職員免許法施行規則第22条の6に定められた情報公表の状況	・法令に定められた情報公表が学外者にもわかりやすく適切に行えているか等	〔大学全体レベル〕 教員養成カリキュラム委員会	毎年度	適合	「教員養成カリキュラム委員会議事要旨」 「鹿児島大学ホームページ（教員養成の状況に関する情報の公表）」 https://www.kagoshima-u.ac.jp/about/kyjkouhyou.html	
	b. 学修成果に関する情報公表の状況	・大学が必要な資質・能力を備えた学生を育成できているかどうかを、エビデンスとともに説明できているか等		毎年度	適合	「教職課程履修カルテ」 付帯事項：認定課程における教職課程履修カルテの活用により、教員に必要な資質の確認はできている。さらなる将来計画として、教員に必要な資質の核となる「教職入門」「教育実習」「教職実践演習」の3科目の成績に対して、ディプロマサブリメントと同様に、教職課程履修カルテに示す「教員としての資質能力」の各割合を設定し、能力確認（定観測）を行うことの検討準備中である。	
	c. 教職課程の自己点検・評価に関する情報公表の状況	・根拠となる資料やデータ等を示しつつ、わかりやすい自己点検・評価の評価書を公表することができているか		毎年度	適合	「教員養成カリキュラム委員会議事要旨」 「令和4年度教員養成に係るカリキュラムの改善等に関する自己点検・評価概要（仮称）」	

【教員養成カリキュラム委員会】

点検項目	中項目	自己点検・評価の観点	自己点検・評価の実施組織	点検時期	「適合」・ 「不適合」	「適合」の場合 → 根拠を記入 「不適合」の場合 → 理由および改善計画（何を、いつまでに）を記入	教育研究等の活動における特記事項 や中期計画に関連した優れた取組な どがあれば記入
⑥教職指導（学生の受け入れ・学生支援）	a. 教職課程を履修する学生の確保に向けた取組の状況	・教職課程に関する積極的な情報提供の実施ができているか、教員の養成の目標に照らして適切に学生を受け入れているか等	〔各部署レベル〕 各部署の教員養成に係る事項を審議する会議体	毎年度	適合	「教員養成カリキュラム委員会議事要旨」 「教員免許状取得ガイダンス・オリエンテーション資料」等 「教員免許取得ガイド」 「教育学部案内」「履修の手引き」「修学の手引き」「履修要項」等 「教育学部3ポリシー」 「教職履修カルテ」 「教員免許状（工業）の取得について」…学生向け案内 「教職大学院パンフレット」	
	b. 学生に対する履修指導の実施状況	・必要な体制や施設・設備を整えた上で、個々の学生の教職に対する意欲を踏まえつつ、学生に教職課程の履修に当たって学修意欲を喚起するような適切な履修指導が行えているか、「履修カルテ」を適切に活用できているか 等		毎年度	適合	「教員養成カリキュラム委員会議事要旨」 「教員免許状取得ガイダンス・説明会案内」 「教員免許状取得希望者への案内文書」 「教員免許取得ガイド」「履修要項」等 「教職実践演習」 「教職履修カルテ」等 「教育学研究科教育相談Day実施体制」	
	c. 学生に対する進路指導の実施状況	・学生に教職への入職に関する情報を適切に提供するなど、学生のニーズに応じたキャリア支援体制が適切に構築されているか等		毎年度	適合	「教員養成カリキュラム委員会議事要旨」 「学部就職支援室での教員採用求人への周知・各種情報提供」等 「教職支援室利用者数」 「教員養成基礎講座Ⅰ、Ⅱ等」 「教員選考試験対策講演会資料（5/25実施）」 「キャリア・就職支援計画」 「教員養成カリキュラム委員による指導助言」 「進路確認シート（教職大学院）」	【法文学部】キャリア形成支援課から案内がある学校推薦に関する採用案内はmanaba等で周知している

【教員養成カリキュラム委員会】

点検項目	中項目	自己点検・評価の観点	自己点検・評価の実施組織	点検時期	「適合」・ 「不適合」	「適合」の場合 → 根拠を記入 「不適合」の場合 → 理由および改善計画（何を、いつまでに）を記入	教育研究等の活動における特記事項 や中期計画に関連した優れた取組な どがあれば記入
⑦関係機関等との連携	a. 教育委員会や各学校法人との連携・交流等の状況	・教員の採用を担う教育委員会や各学校法人と適切に連携・交流を図り、地域の教育課題や教員育成指標を踏まえた教育課程の充実や、学生への指導の充実につなげることができているか等	〔各部署レベル〕 各部署の教員養成に係る事項を審議する会議体	毎年度	適合	「教員養成カリキュラム委員会議事要旨」 「学校支援ボランティア活動」…学生向け案内 「教育学部地域連携企画実施委員会規則」 「教育学部・教育学研究科と市町村教育長会との協定書等」 「地域連携事業チラシ」 「鹿児島県教育委員会免許法認定講習開設科目（情報）について」 「鹿児島県公立学校教員等採用選考試験の案内について」 「学校支援ボランティア事業（鴨池小・中学校）」…学生向け案内 「農学部と鹿児島県立農業系高等学校との連絡協議会」 「水産教員の採用に関する各県の教育委員会及び水産系高校関係者との情報交換」	【教育学部】教員の質の向上と人材確保を目的に鹿児島県市町村教育長会と教育学部及び教育学研究科との連携・協力に関する協定書を締結（R5.3.29） 【水産学部】水産教員の採用に関連して、各県の教育委員会、水産系高校関係者と情報交換を行っている。
	b. 教育実習等を実施する学校との連携・協力の状況	・教育実習を実施する学校と適切に連携・協力を図り、実習の適切な実施につなげることができているか、学校体験活動や学習指導員としての活動など学校現場での体験活動を行う機会を積極的に提供できているか等		毎年度	適合	「教員養成カリキュラム委員会議事要旨」 「各部署の教育実習内諾依頼文書」 「教育実習評価授業への指導教員の出席についての案内」 「教育学部教育実習連絡協議会議事要旨」 「教育学部学校環境観察実習資料」 「教育学部学校体験ガイダンス等」 「教育実習の手続き等に関する説明会案内」 「鹿児島県公立学校教員等採用選考試験の案内について」 「学校支援ボランティア事業（鴨池小・中学校）」…学生向け案内 「教育実習関係の各種資料」 「水産学部協力校における実習及び授業見学」 「教育学研究科連絡協議会議事要旨」	【水産学部】水産教員に関しては協力校での実習をお願いしており、2,3年次の授業で見学を組み込んでいる。
	c. 学外の多様な人材の活用状況	・学外の諸機関との連携の下、教育課程を充実するために学外の多様な人材を実務経験のある教員又はゲストスピーカー等として活用することができているか等		毎年度	適合	「教員養成カリキュラム委員会議事要旨」 「教職概論外部講師講演資料」 「教職関連科目シラバス」「教員養成基礎講座ⅡⅡシラバス等」 「非常勤講師雇用計画（元高校教員含む）」 「教職実践演習での元高校長からの指導・助言」 「キャリア指導ガイダンスにおける卒業生からの職業体験講演」 「学外の多様な人材の活用状況」	【水産学部】入学時のキャリア指導時に、教壇に立つ卒業生に職業体験講演を組み込んでいる。